

# JACET関西支部

## 2020年度第3回支部講演会

The JACET Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting  
of the 2020 Academic Year



- 2020年度第3回支部講演会を下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。
- **Fee: JACET会員・非会員共に参加費無料です。非会員のみ事前申し込みが必要です。Free for both JACET members and non-members. Need to pre-register for only non-members.**
- **Access: Zoomにてオンラインで開催予定です。アクセス情報に関して、詳しくはJACET関西支部ウェブサイト(<http://www.jacet-kansai.org/>)をご参照ください。**

**Date: 2021年3月20日 (土) 15:30-17:00**

Saturday, March 20, 2021, 15:30-17:00

**Venue: オンライン (Zoom)**

Online (Zoom)

**Title: EAP研究から考えるアカデミック  
ライティング**

Academic Writing in EAP Research

# Lecturers & Abstract

## 大学教育課程のL2学生によるアカデミックライティング作成

上條 武 (立命館大学) Mr. Takeshi Kamijo (Ritsumeikan University)

大学で行うアカデミックライティングでは、L2学生は単純に自分の個人的な考えではなく教養および専門分野での知識貢献を考えなくてはならない。選別した文献の批判評価と整理によりエッセーの議論を構築させていく。しかし日本ではこのようなL2学生のアカデミックライティング作成の研究は少ない。本発表では、まずBereiter & Scardamalia (1987), Flower (1980), Wingate (2012, 2014)による議論文形式のアカデミックライティングモデルの説明を行う。次に国際的な学術英語研究のコミュニティで、いかにL2学生に対するアカデミックライティングの調査研究が行われているかというトレンドを紹介する。

## ジャンルベースドアプローチ準拠ライティング教授法による アカデミックエッセー指導

長尾 明子 (龍谷大学) Ms. Akiko Nagao (Ryukoku University)

第2部では、日本人大学生の英語アカデミックライティング能力を伸ばす指導法の構築とその汎用化に関連した実証研究結果を提示する。研究参加者は、一定期間、選択体系機能言語学 (Systemic functional linguistics; SFL)を基盤としたジャンルベースドアプローチ準拠ライティング教授法によるライティングのオンライン授業を受けた。学習者が書いた、事前エッセー (指導無し)・中間エッセー (書き直し; 正確さの測定)・事後エッセー (言語習得の測定)を比較分析し、英語学習者の言語自体の習熟度やideational meaning (観念構成的意味)、 interpersonal meaning (対人的意味)、 textual meaning (テキスト形成的意味)の理解がどのように変化したかを検証した。

- ▶ 使用言語は日本語です。質疑応答時は英語・日本語どちらでも可です。This lecture will be given in Japanese. The Q&A session will be bilingual.
- ▶ For English information, please visit the JACET Kansai Chapter Website (<http://www.jacet-kansai.org/>).